

平成 28 年 9 月 26 日



「ファースト・イーグル・アムンディ・インターナショナル・ファンド」が 20 周年を迎えます 一貫した投資哲学で長期的な収益機会を実現

アムンディ・ジャパン株式会社

[アムンディ・ジャパン株式会社](#) (東京都千代田区、社長: ジュリアン・フォンテーヌ) は、ファースト・イーグル・アムンディ・インターナショナル・ファンドが設定 20 周年を迎えるにあたり、当ファンドを旗艦商品の一つとして継続的に販売促進するとともに、ファースト イーグル インベストメント マネジメント社 (米国 ファースト イーグル社) とのこれまでの長きにわたる信頼関係を今後も継続し、「グローバル・バリュー投資の本流」とも称される、その一貫した投資哲学が実現する長期的な収益機会を日本の投資家の皆さまに提供して参ります。

< ファースト・イーグル・アムンディ・インターナショナル・ファンドの実績 >

ファースト・イーグル・アムンディ・インターナショナル・ファンドは、モーニングスターレーティングで 5 つ星を獲得*¹ するなど、評価機関からも高い評価を受けるとともに、運用資産額が約 7,904 億円*² かつ 20 年の年間平均パフォーマンスが 9.63%*³ という優れた実績をもつアムンディの旗艦ファンドの一つです。1996 年にルクセンブルク、フランス、スペインおよびイタリアで設定され、今日ではヨーロッパ、アジア、ラテンアメリカおよび中東において、アムンディにより独占販売されています。

< 独自の運用手法「バリュー投資の本流」 >

当ファンドは設定以来 20 年にわたり、数々の厳しい市場環境をも乗り越えてまいりました。この実績は、当ファンドを運用する、ファースト イーグル社のグローバル・バリュー・チームの投資哲学「資産の保全」に基づく徹底したバリュー投資の成果であり、「長期的な投資による成功の鍵は大きな損失を出さないこと」という信念に基づいています。独自の価値を持ち、いつの時代であっても必要とされる企業を独自の分析により厳選し、その本源的価値から十分に割安な水準であることを確認して投資をする。つまり、将来の不確実性に備えるため、マージン・オブ・セーフティ (割安度合) の高い銘柄にのみ投資するという、一貫した投資哲学により、長期的な収益機会をもたらしてきました。

また、当ファンドは、株式を中心に様々な資産に分散投資されており、また、ベストな投資タイミングを逸することのないよう、現金比率を高め維持するとともに、金融市場に混乱が起き、株式市場が下落した時など、不測の事態に備え、金関連資産を保有する等、幅広く分散投資を行うことにより様々な危機を乗り越えてきました。

2008年からファンドマネージャーを務めるファースト イーグル社のマット・マクレナン氏は次のように述べています。

「当ファンドの目的は大変シンプルであり、金融市場が不確実であることを認識した上で投資資産を守りながらマーケットの上昇局面での収益を目指すファンドです。ファンドの実績やこのファンドの認知度の高さは、過去20年の厳しい市場環境にも負けないパフォーマンス、またその回復力と一貫した投資方法が広く世界中で受けいられていることを立証しています。私たちはこれまでの業績を誇りに思うとともに、この継続的に勝つための戦略を用いて、今後とも投資家の皆さまのニーズにお応えしてまいります。」

< アムンディ・ファースト・イーグル ファンドシリーズについて >

日本においては、アムンディ・ジャパンが日本の投資家の皆さまのために商品化したものが「アムンディ・ファースト・イーグル ファンドシリーズ」であり、以下3つの異なるファンドを総称しています。また、アムンディ・ファースト・イーグル ファンドシリーズにおける販売会社は下記のとおりです。（2016年9月現在）

ファンド名	日興レジェンド・イーグル・ファンド (資産成長コース)/(円ヘッジコース) (毎月決算コース)	ワールド・バリュー・アロケーション Aコース(為替ヘッジあり) Bコース(為替ヘッジなし)	アムンディ・グローバル・ストラテジー株式ファンド 愛称: ロイヤルギフト 年2回決算型/毎月決算型
販売会社	三井住友銀行 SMBC 日興証券	野村證券	群馬銀行・千葉銀行 八十二銀行・北海道銀行 (五十音順)

その他、詳しくは弊社ホームページをご参照ください。

[アムンディ・ファースト・イーグル ファンドシリーズ スペシャルサイト](#)

※1 2016年8月末日現在

※2 77億米ドル (1米ドル=102.65円で換算。2016年8月末日現在。) 出所:ファーストイーグルインベストメントマネジメント社。本掲載のために算出されたもので、予告なく変更されることがあります。

※3 2016年7月末日現在。設定来AUCシェアクラスの年率換算のネットパフォーマンス。過去の実績は将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

各ファンドに係る費用について

投資信託では、一般的に次の手数料・費用をご負担いただきます。その料率は投資信託によって異なります。さらに、下記以外の手数料・費用をご負担いただく場合、一部の手数料・費用をご負担いただかない場合もあります。詳細は、投資信託説明書(交付目論見書)・契約締結前交付書面をご覧ください。または、販売会社へお問い合わせください(カッコ内には、アムンディ・ジャパン株式会社が設定・運用する公募投資信託のうち、最も高い料率を記載しています。)。投資信託の購入時: 購入時手数料[最高料率 3.78%(税込)]、投資信託の換金時: 信託財産留保額[最高料率 0.5%]、投資信託の保有時: 運用管理費用(信託報酬)[実質最高料率 2.2312%(税込)]、監査費用
運用管理費用(信託報酬)、監査費用は、信託財産の中から日々控除され、間接的に投資者の負担となります。その他に
有価証券売買時の売買委託手数料、外貨建資産の保管費用、信託財産における租税費用等を間接的にご負担いただきます。また、他の投資信託へ投資する投資信託の場合には、当該投資信託において上記の手数料・費用が掛かることがあります。* 上記の費用の合計額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することはできません。

投資リスクについて

ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主として世界各国の株式など値動きのある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクがあります。)に実質的に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。ファンドの基準価額の下落により、損失を被り投資元本を割込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者に帰属します。なお、投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因として「価格変動リスク」「流動性リスク」「カントリーリスク」「為替変動リスク」「金利変動リスク」「信用リスク」があります。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

設定・運用は

アムンディ・ジャパン株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 350 号

加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会

アムンディについて

アムンディは約 115 兆円の運用資産額^{*1}を有する、欧州 No.1^{*2}の資産運用会社です。

世界 30 カ国以上の主要な投資地域の中心に拠点を持ち、あらゆるアセットクラスや主要通貨を網羅する広範囲な運用商品を提供しています。

アムンディは、世界中の 1 億人以上の個人投資家のお客様のニーズに応えるべく、貯蓄・投資手段の提供に力を注いでいます。また、機関投資家のお客様については、個別の要望やリスク許容度に応じた、革新的で良好なパフォーマンスを生み出すような商品を開発、提供しています。

アムンディはヨーロッパをリードする資産運用会社であり、以下の点で評価されています。

- 高い実績と透明性のある商品
- 長期的なアドバイザリーサービスに基づく顧客との関係のクオリティの高さ
- 能力のある組織やチームとして顧客への貢献をお約束すること
- 持続可能な発展と社会的責任投資へのコミットメント

※1 約 1 兆 40 億ユーロ、1 ユーロ=114.39 円にて換算。2016 年 6 月末現在。

※2 出所: インベストメント・ペンション・ヨーロッパ誌による“資産運用会社トップ 400 社”調査(2016 年 6 月版(数値は 2015 年 12 月末現在))

アムンディ アセットマネジメントは、株式資本596,262,615ユーロを有するフランスにおける法人(Société Anonyme)形態の運用会社であり、フランス金融市場庁(AMF)の監督下にあります(登録番号: GP 04000036)。本社: 90, boulevard Pasteur, 75015 Paris, France - 437 574 452 RCS Paris.

amundi.co.jp

ファースト イーグル インベストメントマネジメント社について

ファースト イーグル インベストメントマネジメント社は 1803 年に設立され、約 10 兆 3,752 億円 (998 億米ドル、1 米ドル=103.96 円にて換算。2016 年 7 月末現在)の運用資産額を有する、米国を拠点とする SEC 登録の独立した非公開の資産運用会社です。

当社は、この長い歴史の中で、幅広く多様な経済危機をくぐり抜け、お客様の資産を守りながら魅力的な利益をあげてお手伝いをしてきました。その伝統が今日の使命の中心となっています。

詳しくは当社ホームページをご参照ください。

www.feim.com

本件に関するお問合せ先:

アムンディ・ジャパン株式会社 広報室

TEL: 03-3593-5700

e-mail: pr@jp.amundi.com

本資料は、一般・参考情報の提供を目的として、アムンディ・ジャパン株式会社(以下、「弊社」といいます。)が作成した資料であり、特定の金融商品の購入または売却の勧誘を目的としたものではありません。

本資料中には、特定の資産、市場等に関する予測および将来見通しが含まれていることがありますが、実際に生起する事象はかなり相違することがあります。

本資料中のいかなる内容も、将来の投資収益等を示唆または保証するものではありません。

本資料は、信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性、完全性について保証するものではありません。

弊社は、本資料に含まれる情報から生じるいかなる責務(直接的、間接的を問わず)を負うものではありません。

弊社の許可なく、本資料を複製または再配布することはできません。